

量の見込み(計画値)について
～ 市全域 ～

令和元年8月

※現在調整中の数値のため、変更となる可能性があります。

【目次】

ページ

・量の見込みの算出方法などについて

【参考】

・教育・保育

- ◎教育・保育<3号認定>【0歳】(保育ニーズ:認定こども園及び保育所+地域型保育) 1
- ◎教育・保育<3号認定>【1、2歳】(保育ニーズ:認定こども園及び保育所+地域型保育) 2
- ◎教育・保育<1号認定>【3~5歳】(教育ニーズ:認定こども園及び幼稚園) 3
- ◎教育・保育<2号認定>【3~5歳】(教育ニーズ:認定こども園及び幼稚園) 4
- ◎教育・保育<2号認定>【3~5歳】(保育ニーズ:認定こども園及び保育所) 5

・地域子育て支援事業

- ◎時間外保育事業 6
- ◎放課後児童健全育成事業<低学年> 7
- ◎放課後児童健全育成事業<高学年> 8
- ◎子育て短期支援事業(ショートステイ) 9
- ◎地域子育て支援拠点事業 10
- ◎一時預かり(在園児対象型)<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)> 11
- ◎一時預かり(在園児対象型)<2号認定による定期的な利用>(幼稚園) 12
- ◎一時預かり他(一時預かり(在園児対象型を除く)、ファミリー・サポート・センター(病児・緊急対応強化事業を除く)、トワイライトステイ事業)<0-5歳児の利用:幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)以外> 13
- ◎病児病後児保育、ファミリー・サポート・センター(病児・病後児) 14
- ◎ファミリー・サポート・センター(就学児) 15

・国ワークシートで算出できない事業の「量の見込み」(案)

- ◎養育支援事業 16
- ◎利用者支援事業 16
- ◎乳児家庭全戸訪問事業 17
- ◎妊婦健診 17

御殿場市子ども・子育て支援事業ニーズ調査「量の見込み」算出に係る関連項目 18

量の見込みの算出方法などについて

1. 「量の見込み」について

「量の見込み」とは、教育・保育及び子ども子育て支援事業における需要（ニーズ）のことで、第二期計画でも各事業のニーズを推計する必要があります。

本資料では、第二期計画で必要となる令和2年度から令和6年度までの「量の見込み」を推計しています。

2. 「量の見込み」の算出の流れ

「量の見込み」は、原則、国の手引きを使って算出し、地域の実情を勘案して定めていきます。

① ニーズ調査（児童の保護者に対するアンケート調査）の実施

- 平成30年度に、0歳から小6までの児童の保護者を対象に実施。
- 国の作成した調査項目に沿ったアンケートとなっています。

② ニーズ調査結果に基づき、対象者の家庭類型を分類

- 各事業の対象者を算出するため、ニーズ調査結果に基づき家庭類型を分類します。
（ご参考まで、未就学児の家庭類型を分類した結果は右表のとおりとなりました。）

未就学児の家庭類型の分類結果

分類タイプ	人数	割合
タイプA： ひとり親家庭	34	4.3%
タイプB： フルタイム×フルタイム	296	37.3%
タイプC： フルタイム×パートタイム	139	17.5%
タイプC'： フルタイム×パートタイム(短)	134	16.9%
タイプD： 専業主婦(夫)	191	24.1%
タイプE： パートタイム×パートタイム	0	0%
タイプE'： パートタイム×パートタイム(短)	0	0%
タイプF： 無業×無業	0	0%
タイプA～F 小計	794	100%
分類不能	54	
合計	848	

③ 各事業ごとの利用意向の集計

- ニーズ調査結果に基づき、各事業の対象となる②の家庭類型ごとに利用意向を集計します。

④ 「量の見込み」の算出

- 計画期間（令和2年度～令和6年度）の推計人口に各家庭類型の割合を掛け合わせ、推計人口に対応する各家庭類型の児童数を算出します。
- 上記で算出した児童数に各事業の利用意向割合を掛け合わせることで、各事業の「量の見込み」を算出します。
- 算出した「量の見込み」が過去の利用実績と比較して乖離している場合は、実情を考慮した必要な補正を行うほか、利用実績等を勘案して算出することもできます。

「量の見込み」計画値

◎教育・保育

「量の見込み」一覧表 整理番号 ⑤

■0歳家庭のみ

<3号認定> (保育ニーズ: 認定こども園及び保育所+地域型保育)

(1) 0歳児人口 (各年3月31日現在)

←実績 | 推計→

(単位: 人)

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
0歳	833	750	743	692	722	706	691	684	675

(2) 現状 (各年3月1日現在)

(単位: 人)

※保育所入所待ち等

	H29	H30	H31
保育所等園児数: 0歳	175	164	167

	H29	H30	H31
入所待ち: 0歳	66	63	55

	H29	H30	H31(R1)
園児数+入所待ち児童 合計	241	227	222

(3) 国算式による算出値

未就学児童調査の問17で「3. 認可保育所」から「10. 居宅訪問型保育」までのいずれかを回答した人の割合より算出 (ただし、こども園の選択者は、保育希望と教育希望の判別ができないため、幼稚園の選択がある者を除外 (該当なし)。)

《就労下限時間: 月80時間》

	R2	R3	R4	R5	R6
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	7	7	6	6	6
タイプB フルタイム×フルタイム	267	260	255	252	249
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	52	52	50	50	49
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	326	319	311	308	304

(4) 計画値

(3) 国算式による算出値から、問12で「日常的にみてもらえる人がいる人」は除いて算出

《就労下限時間: 月80時間》

	R2	R3	R4	R5	R6
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	176	172	168	166	164
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	35	34	33	33	33
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	211	206	201	199	197

(計画値算出の根拠等)

- ・国算式から算出される「量の見込み」では、こども園希望者が教育希望か保育希望か判別できないため、幼稚園希望者を除外した割合を採用した(他の歳児と同様の考慮。ただし該当なし)。
- ・0歳児は、保護者が育児休暇を1年程度は取得すると考えられるため、国算出値ではなく、国算出値から「日常的に預けられる人がいない人」に絞った数値を採用した。
- ・実績と比較して、入所児童及び入所待ち児童を含めた数値に近い値となるので、数値の妥当性があると見込まれる。

「量の見込み」計画値

◎教育・保育

「量の見込み」一覧表 整理番号 ⑥

■1、2歳家庭のみ

<3号認定>(保育ニーズ:認定こども園及び保育所+地域型保育)

(1)1、2歳児人口(各年3月31日現在) ←実績 | 推計→ (単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
1歳	810	821	758	752	699	730	713	699	691
2歳	843	812	814	745	744	692	723	706	692
合計	1,653	1,633	1,572	1,497	1,443	1,422	1,436	1,405	1,383

(2)現状(各年3月1日現在) (単位:人)

	H29	H30	H31
保育所等園児数:1歳+2歳	674	700	659

※保育所入所待ち等

	H29	H30	H31
入所待ち:1歳+2歳	37	46	45

	H29	H30	H31(R1)
園児数+入所待ち児童1歳+2歳 合計	711	746	704

(3)国算式による算出値

未就学児童調査の問17で「3. 認可保育所」から「10. 居宅訪問型保育」までのいずれかを回答した人の割合より算出

《就労下限時間:月80時間》

	R2	R3	R4	R5	R6
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	61	61	61	60	59
タイプB フルタイム×フルタイム	529	520	525	514	506
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	196	194	196	191	188
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	786	775	782	765	753

(4)計画値

(3) 国算式による算出値から幼稚園希望者を除外した割合を採用した。

《就労下限時間:月80時間》

	R2	R3	R4	R5	R6
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	61	61	61	60	59
タイプB フルタイム×フルタイム	430	424	428	419	412
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	178	175	177	173	171
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	669	660	666	652	642

(計画値算出の根拠等)

- ・国算式から算出される「量の見込み」では、こども園希望者が教育希望か保育希望か判別できないため、幼稚園希望者を除外した割合を採用した。
- ・実績と比較して、若干低い数値となるものの、保育所等園児数とほぼ同程度となるので、一定の妥当性があると見込まれる。

「量の見込み」計画値

◎教育・保育

「量の見込み」一覧表 整理番号 ①(及び②)・⑨

■3歳～就学前家庭のみ

<1号認定>(教育ニーズ:認定こども園及び幼稚園)

(1)3～5歳児人口(各年3月31日現在)

←実績 | 推計→

(単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
3歳	841	832	796	786	733	732	681	711	695
4歳	837	829	832	780	779	726	726	675	705
5歳	866	833	822	820	772	771	719	718	668
合計	2,544	2,494	2,450	2,386	2,284	2,229	2,126	2,104	2,068

利用率→ 50.2% 48.2% 47.1% 46.5%

(2)現状(各年5月1日現在)

(単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)
幼稚園+こども園1号(3歳)	420	389	349	376
幼稚園+こども園1号(4歳)	413	410	384	352
幼稚園+こども園1号(5歳)	445	404	420	381
合計	1,278	1,203	1,153	1,109

(3)国算式による算出値

未就学児童調査の問17で「1. 幼稚園」または「4. 認定こども園」を回答した人の割合より算出

《就労下限時間:月80時間》

	R2	R3	R4	R5	R6
	人	人	人	人	人
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	428	417	398	394	387
タイプD 専業主婦(夫)	432	422	402	398	391
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	860	839	800	792	778
<1号認定> + <2号認定(幼稚園)>	948	925	882	873	858

(4)計画値

(3) 国算式による算出値を採用

《就労下限時間:月80時間》

	R2	R3	R4	R5	R6
	人	人	人	人	人
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	428	417	398	394	387
タイプD 専業主婦(夫)	432	422	402	398	391
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	860	839	800	792	778
<1号認定> + <2号認定(幼稚園)>	948	925	882	873	858

(計画値算出の根拠等)

- ・国算式から算出される量の見込みを採用した。
- ・<2号認定(幼稚園)>の計画値と合算し、人口推移や近年減少傾向にある幼稚園利用率を考慮すると、数値の妥当性は一定程度あるものと見込まれる。

「量の見込み」計画値

◎教育・保育

「量の見込み」一覧表 整理番号 ②(及び①)・⑨

■3歳～就学前家庭のみ

<2号認定>(教育ニーズ:認定こども園及び幼稚園)

(1)3～5歳児人口(各年3月31日現在)

←実績 | 推計→

(単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
3歳	841	832	796	786	733	732	681	711	695
4歳	837	829	832	780	779	726	726	675	705
5歳	866	833	822	820	772	771	719	718	668
合計	2,544	2,494	2,450	2,386	2,284	2,229	2,126	2,104	2,068

利用率→ 50.2% 48.2% 47.1% 46.5%

(2)現状(各年5月1日現在)

(単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)
幼稚園+こども園1号(3歳)	420	389	349	376
幼稚園+こども園1号(4歳)	413	410	384	352
幼稚園+こども園1号(5歳)	445	404	420	381
合計	1,278	1,203	1,153	1,109

(3)国算式による算出値

未就学児童調査の問16-1で「1. 幼稚園」を回答した人の割合より算出

≪就労下限時間:月80時間≫

	R2	R3	R4	R5	R6
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	5	5	5	5	4
タイプB フルタイム×フルタイム	44	43	40	40	40
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	39	38	37	36	36
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	88	86	82	81	80
<1号認定> + <2号認定(幼稚園)>	948	925	882	873	858

(4)計画値

(3) 国算式による算出値を採用

≪就労下限時間:月80時間≫

	R2	R3	R4	R5	R6
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	5	5	5	5	4
タイプB フルタイム×フルタイム	44	43	40	40	40
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	39	38	37	36	36
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	88	86	82	81	80
<1号認定> + <2号認定(幼稚園)>	948	925	882	873	858

(計画値算出の根拠等)

・<1号認定>の計画値と合算し、人口推移や近年減少傾向にある幼稚園利用率を考慮すると、数値の妥当性は一定程度あるものと見込まれる。

「量の見込み」計画値

◎教育・保育

「量の見込み」一覧表 整理番号 ③(及び②)・④

■3歳～就学前家庭のみ

<2号認定>(保育ニーズ:認定こども園及び保育所)

(1)3～5歳児人口(各年3月31日現在)

←実績 | 推計→

(単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
3歳	841	832	796	786	733	732	681	711	695
4歳	837	829	832	780	779	726	726	675	705
5歳	866	833	822	820	772	771	719	718	668
合計	2,544	2,494	2,450	2,386	2,284	2,229	2,126	2,104	2,068

(2)現状(各年3月1日現在)

(単位:人)

※保育所入所待ち等

	H29	H30	H31
保育所等園児数:3歳～5歳	1,201	1,217	1,227

	H29	H30	H31
入所待ち:3歳～5歳	4	7	5

	H29	H30	H31(R1)
園児数+入所待ち児童3歳～5歳 合計	1,205	1,224	1,232

(3)国算式による算出値

未就学児童調査の問17で「1. 幼稚園」から「10. 居宅訪問型保育」までのいずれかを回答した人の割合を算出

《就労下限時間:月80時間》

	R2	R3	R4	R5	R6
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	98	96	91	90	89
タイプB フルタイム×フルタイム	737	719	686	679	667
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	413	403	384	380	374
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	1,248	1,218	1,161	1,149	1,130

<2号認定(認定こども園及び保育所)> + <2号認定(幼稚園)> 1,336 1,304 1,243 1,230 1,210 ←参考に算出

(4)計画値

(3) 国算式による算出値から幼稚園希望者を除外した割合を採用した。

《就労下限時間:月80時間》

	R2	R3	R4	R5	R6
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	98	96	91	90	89
タイプB フルタイム×フルタイム	702	685	655	647	636
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	408	398	379	376	369
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	1,208	1,179	1,125	1,113	1,094

<2号認定(認定こども園及び保育所)> + <2号認定(幼稚園)> 1,296 1,265 1,207 1,194 1,174 ←参考に算出

(計画値算出の根拠等)

・国算式から算出される「量の見込み」では、こども園希望者が教育希望か保育希望か判別できないため、幼稚園希望者を除外した割合を採用した。

・実績と比較して、入所児童及び入所待ち児童を含めた数値とほぼ同程度となるので、数値の妥当性があると見込まれる。

◎時間外保育事業(延長保育)

「量の見込み」一覧表 整理番号 ⑬

(参考)各年3/31現在人口

←実績 | 推計→

(単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
0歳	833	750	743	692	722	706	691	684	675
1歳	810	821	758	752	699	730	713	699	691
2歳	843	812	814	745	744	692	723	706	692
3歳	841	832	796	786	733	732	681	711	695
4歳	837	829	832	780	779	726	726	675	705
5歳	866	833	822	820	772	771	719	718	668
合計	5,030	4,877	4,765	4,575	4,449	4,357	4,253	4,193	4,126

(2)現状(延長保育・年間実利用人数)

年度	H28	H29	H30
①実人数	1,028	1,024	1,019

保育所等利用児童数(各年度1月1日現在)・延長保育利用率

年度	H28	H29	H30
②保育所等入所児童数	2,055	2,080	2,063
延長保育利用率(①/②)	0.50	0.49	0.49

(3)国算式による算出値

未就学児童調査の間17で「3. 認可保育所」から「10. 居宅訪問型保育」までのいずれかを回答、かつ、問16-2(2)で「18時以降」と回答した人の割合から算出

	R2	R3	R4	R5	R6
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	67	66	64	63	62
タイプB フルタイム×フルタイム	600	587	573	566	556
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	106	104	102	100	99
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	773	757	739	729	717

(4)計画値

(3)国算式による算出値ではなく、H28~H30の実人数実績から利用者割合を算出し、最も利用率の高いH28の割合に各年度の保育ニーズ合計を掛け合わせて算出

(単位:人)

	R2	R3	R4	R5	R6
2号+3号認定 ニーズ推計値	2,061	2,017	1,966	1,938	1,907

年度	H28	H29	H30
利用率	0.50	0.49	0.49

	R2	R3	R4	R5	R6
時間外保育事業 推計値	1,031	1,009	983	969	954

(計画値算出の根拠等)

・国算式から算出される量の見込みは、これまでの実績より3割程度少なかったため、H28~H30の実人数実績から利用者割合を算出し、最も利用率の高いH28の割合に各年度の保育ニーズ合計(2号、3号の量の見込みの合計)を掛け合わせることで算出した。

「量の見込み」計画値

◎放課後児童健全育成事業(学童保育)＜低学年＞ 「量の見込み」一覧表 整理番号 ⑩(及び⑪)・⑫

←実績 推計→

(1)小1～小3小学校児童数(各年5月1日現在)

(単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
小1	872	838	825	783	828	779	792	756	755
小2	902	859	824	814	783	828	779	792	756
小3	918	900	854	821	813	783	828	779	792
合計	2,692	2,597	2,503	2,418	2,424	2,390	2,399	2,327	2,303

(2)現状(利用児童数:各年度5月1日現在) (単位:人)

利用待ち等

(単位:人)

	H29	H30	H31(R1)
低学年(小1～小3)	864	885	909

	H29	H30	H31(R1)
入所待ち等	5	8	23

児童数(単位:人)・利用率

	H29		H30		H31(R1)	
	利用数	利用率	利用数	利用率	利用数	利用率
利用児童数+入所待ち小1～小3 合計	869	33.5%	893	35.7%	932	38.5%
(合計内訳)利用児童数+入所待ち小1	347	41.4%	329	39.9%	364	46.5%
(合計内訳)利用児童数+入所待ち小2	298	34.7%	314	38.1%	307	37.7%
(合計内訳)利用児童数+入所待ち小3	224	24.9%	250	29.3%	261	31.8%

(3)国算式による算出値

就学児童調査の問16で「4. 放課後児童教室〔学童保育〕」と回答した人の割合から算出

	R2	R3	R4	R5	R6
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	40	39	38	36	35
タイプB フルタイム×フルタイム	271	262	258	244	242
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	99	96	94	89	88
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	410	397	390	369	365

(4)計画値

(3)国算式による算出値ではなく、過去の実績のうち最大となる利用者割合を算出し、その割合に各年度の推計小学校児童数を掛け合わせた数値から、進級に伴う利用数の逡減状況を反映して算出した。なお、過去の利用数の推移から、小学校低学年は年2%程度の利用数の増を見込む。

	R2	R3	R4	R5	R6
	人日	人日	人日	人日	人日
小1	402	393	416	412	427
小2	312	346	341	363	361
小3	275	280	313	310	331
低学年(小1～小3)合計 推計値	989	1,019	1,070	1,085	1,119
＜参考＞低学年+高学年	1,179	1,218	1,275	1,308	1,347

(計画値算出の根拠等)

- ・国算式では、実績の半分以下の数値となってしまうことから、過去の実績のうち最大となる利用者割合を算出し、その割合に各年度の推計小学校児童数を掛け合わせた数値から、進級に伴う利用数の逡減状況を反映して算出した。
- ・過去の利用数の推移から、小学校低学年は年2%程度の利用数の増を見込む。

「量の見込み」計画値

◎放課後児童健全育成事業(学童保育)＜高学年＞ 「量の見込み」一覧表 整理番号 ⑪(及び⑩)・⑫

←実績 推計→

(1)小4～小6小学校児童数(各年5月1日現在) (単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
小4	857	907	881	849	822	813	783	828	779
小5	873	845	897	874	849	822	813	783	828
小6	868	862	829	880	873	849	822	813	783
合計	2,598	2,614	2,607	2,603	2,544	2,484	2,418	2,424	2,390

(2)現状(利用児童数:各年度5月1日現在) (単位:人)

	H29	H30	H31(R1)
高学年(小4～小6)利用数	142	118	121

利用待ち等 (単位:人)

	H29	H30	H31(R1)
入所待ち等	18	45	61

児童数(単位:人)・利用率

	H29		H30		H31(R1)	
	利用数	利用率	利用数	利用率	利用数	利用率
利用児童数+入所待ち小4～小6 合計	160	6.1%	163	6.3%	182	7.0%
(合計内訳)利用児童数+入所待ち小4	104	11.5%	103	11.7%	139	16.4%
(合計内訳)利用児童数+入所待ち小5	40	4.7%	46	5.1%	34	3.9%
(合計内訳)利用児童数+入所待ち小6	16	1.9%	14	1.7%	9	1.0%

(3)国算式による算出値

就学児童調査の問17で「4. 放課後児童教室〔学童保育〕」と回答した人の割合から算出

	R2	R3	R4	R5	R6
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	55	53	52	50	49
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	13	13	12	12	11
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	68	66	64	62	60

(4)計画値

(3)国算式による算出値ではなく、低学年と同様の用法で算出した。なお、過去の利用数の推移から、小学校高学年は年0.5%程度の利用数の増を見込む。

	R2	R3	R4	R5	R6
	人日	人日	人日	人日	人日
小4	139	141	140	152	147
小5	37	40	44	46	53
小6	14	18	21	25	28
高学年(小4～小6) 推計値	190	199	205	223	228
＜参考＞低学年+高学年	1,179	1,218	1,275	1,308	1,347

(上記数値算出の根拠等)

・国算式では、実績数値よりも低く算出されてしまうため、低学年と同様の方法で算出した。なお、過去の利用数の推移から、小学校高学年は年0.5%程度の利用数の増を見込む。

「量の見込み」計画値

◎子育て短期支援事業(ショートステイ)

「量の見込み」一覧表 整理番号 ⑳

(1)0～5歳児人口(各年3月31日現在) ←実績 | 推計→ (単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
0歳	833	750	743	692	722	706	691	684	675
1歳	810	821	758	752	699	730	713	699	691
2歳	843	812	814	745	744	692	723	706	692
3歳	841	832	796	786	733	732	681	711	695
4歳	837	829	832	780	779	726	726	675	705
5歳	866	833	822	820	772	771	719	718	668
合計	5,030	4,877	4,765	4,575	4,449	4,357	4,253	4,193	4,126

(2)現状(年間実利用人数) (単位:人日)

	H28	H29	H30
実人数	0	0	0

※事業未実施

(3)国算式による算出値

未就学児童調査の問25で「1. あった」と回答した人のうち、「イ. ショートステイを利用した」または「オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」を回答した人の割合から算出

	R2	R3	R4	R5	R6
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	0	0	0	0	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプD 専業主婦(夫)	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	0	0	0	0	0

(4)計画値

(3) 国算式による算出値を採用

	R2	R3	R4	R5	R6
	人日	人日	人日	人日	人日
全体	0	0	0	0	0

(計画値算出の根拠等)

- ・国算式から算出される量の見込みを採用した。
- ・これまで事業を実施していないため、量の見込みもゼロとする。

「量の見込み」計画値

◎地域子育て支援拠点事業

「量の見込み」一覧表 整理番号 ㉑

(1) 0～2歳児人口(各年3月31日現在) ←実績 | 推計→ (単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
0歳	833	750	743	692	722	706	691	684	675
1歳	810	821	758	752	699	730	713	699	691
2歳	924	942	919	851	853	865	841	824	811
合計	2,567	2,513	2,420	2,295	2,274	2,301	2,245	2,207	2,177

(2) 現状(0～2歳の年間延べ利用人数) (単位:人日)

年度	H28	H29	H30
地域子育て支援拠点事業	28,475	27,830	26,731
その他(拠点事業に準ずる事業)	1,996	2,713	1,919
合計(年間あたり)	30,471	30,543	28,650
月平均	2,539	2,545	2,388

(3) 国算式による算出値

未就学児童調査の問18で「利用している」と回答した人と、問19で「1. 利用していないが、今後利用したい」と回答した人の割合から算出

	R2	R3	R4	R5	R6
	人回	人回	人回	人回	人回
タイプA ひとり親	30	30	30	29	29
タイプB フルタイム×フルタイム	839	824	824	810	798
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	142	140	140	137	135
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	407	400	400	392	387
タイプD 専業主婦(夫)	1,305	1,282	1,281	1,259	1,239
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体(1月当たり)	2,723	2,676	2,675	2,627	2,588
年間換算	32,676	32,112	32,100	31,524	31,056

(4) 計画値

(3) 国算式による算出値を採用

	R2	R3	R4	R5	R6
	人回	人回	人回	人回	人回
タイプA ひとり親	30	30	30	29	29
タイプB フルタイム×フルタイム	839	824	824	810	798
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	142	140	140	137	135
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	407	400	400	392	387
タイプD 専業主婦(夫)	1,305	1,282	1,281	1,259	1,239
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体(1月当たり)	2,723	2,676	2,675	2,627	2,588
年間換算(1月当たり×12)	32,676	32,112	32,100	31,524	31,056

(計画値算出の根拠等)

- ・国算式から算出される量の見込みを採用した。
- ・実績と同程度の数値となったことから、数値の妥当性があると見込まれる。
- ・なお、量の見込みを月単位で算出することとなっているが、計画には年単位で掲載している。

「量の見込み」計画値

◎一時預かり(在園児対象型) 「量の見込み」一覧表 整理番号 ⑭(及び⑮)・⑯
 <幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)>

(1)3～5歳児人口(各年3月31日現在) ←実績 | 推計→ (単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
3歳	841	832	796	786	733	732	681	711	695
4歳	837	829	832	780	779	726	726	675	705
5歳	866	833	822	820	772	771	719	718	668
合計	2,544	2,494	2,450	2,386	2,284	2,229	2,126	2,104	2,068

(2)現状(年間延べ利用児童数) (単位:人日)

年度	H28	H29	H30
公立幼稚園(8園)	1,686	4,998	10,236
私立幼稚園(2園)	11,124	9,993	11,914
私立こども園(1園)	594	734	1,409
合計	13,404	15,725	23,559

(3)国算式による算出値

幼稚園通園児のうち、未就学児童調査の問24で「1. 利用したい」と回答した人と、問23で「1. 一時預かり」または「2. 幼稚園の預かり保育」を回答した人の割合から算出

≪就労下限時間:月80時間≫

	R2	R3	R4	R5	R6
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1,108	1,082	1,032	1,021	1,004
タイプD 専業主婦(夫)	978	954	910	901	885
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	2,086	2,036	1,942	1,922	1,889
<1号認定> + <2号認定による定期的な利用>	22,264	21,728	20,724	20,510	20,159

(4)計画値

(3)国算式による算出値を採用

≪就労下限時間:月80時間≫

	R2	R3	R4	R5	R6
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1,108	1,082	1,032	1,021	1,004
タイプD 専業主婦(夫)	978	954	910	901	885
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	2,086	2,036	1,942	1,922	1,889
<1号認定> + <2号認定による定期的な利用>	22,264	21,728	20,724	20,510	20,159

(計画値算出の根拠等)

- ・国算式から算出される量の見込みを計画値として採用した。
- ・<2号認定による定期的な利用>の計画値と合算した数値について、公立幼稚園での預かり保育の試行実施後(H29.7.1～)の実績と比較するとほぼ同程度となるので、一定の妥当性があると見込まれる。

◎一時預かり(在園児対象型)

「量の見込み」一覧表 整理番号 ⑮(及び⑭)・⑯

<2号認定による定期的な利用>(幼稚園)

(1)3~5歳児人口(各年3月31日現在)

←実績 | 推計→

(単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
3歳	841	832	796	786	733	732	681	711	695
4歳	837	829	832	780	779	726	726	675	705
5歳	866	833	822	820	772	771	719	718	668
合計	2,544	2,494	2,450	2,386	2,284	2,229	2,126	2,104	2,068

(2)現状(年間延べ利用児童数)

(単位:人日)

年度	H28	H29	H30
公立幼稚園(8園)	1,686	4,998	10,236
私立幼稚園(2園)	11,124	9,993	11,914
私立こども園(1園)	594	734	1,409
合計	13,404	15,725	23,559

(3)国算式による算出値

4ページの<2号認定(認定こども園及び幼稚園)>に、問15(1)-1の就労日数を掛け合わせて算出

《就労下限時間:月80時間》

	R2	R3	R4	R5	R6
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	9,961	9,721	9,272	9,176	9,019
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	10,217	9,971	9,510	9,412	9,251
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	20,178	19,692	18,782	18,588	18,270
<1号認定>+<2号認定による定期的な利用>	22,264	21,728	20,724	20,510	20,159

(4)計画値

(3)国算式による算出値を採用

《就労下限時間:月80時間》

	R2	R3	R4	R5	R6
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	9,961	9,721	9,272	9,176	9,019
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	10,217	9,971	9,510	9,412	9,251
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	20,178	19,692	18,782	18,588	18,270
<1号認定>+<2号認定による定期的な利用>	22,264	21,728	20,724	20,510	20,159

(計画値算出の根拠等)

- ・国算式から算出される量の見込みを計画値として採用した。
- ・<1号認定>の計画値と合算した数値について、公立幼稚園での預かり保育の試行実施後(H29.7.1~)の実績と比較するとほぼ同程度となるので、一定の妥当性があると見込まれる。

◎一時預かり他

「量の見込み」一覧表 整理番号 ⑰

(一時預かり(在園児対象型を除く)、ファミリー・サポート・センター(病児・緊急対応強化事業を除く)、トワイライト事業)

(1) 0～5歳児人口(各年3月31日現在)

←実績 | 推計→

(単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
0歳	833	750	743	692	722	706	691	684	675
1歳	810	821	758	752	699	730	713	699	691
2歳	843	812	814	745	744	692	723	706	692
3歳	841	832	796	786	733	732	681	711	695
4歳	837	829	832	780	779	726	726	675	705
5歳	866	833	822	820	772	771	719	718	668
合計	5,030	4,877	4,765	4,575	4,449	4,357	4,253	4,193	4,126

(2) 現状(年間延べ利用児童数)

(単位:人日)

年度	H28	H29	H30
特定教育・保育施設	8,994	9,051	8,141
特定地域型保育事業所	838	644	290
認可外保育施設	194	65	418
ファミリー・サポート・センター(未就学児)	2,113	2,167	2,281
計	12,139	11,927	11,130

(3) 国算式による算出値

未就学児童調査の問24で「1. 利用したい」と回答した人の割合から算出

	R2	R3	R4	R5	R6
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	121	114	113	108	110
タイプB フルタイム×フルタイム	1,422	1,356	1,337	1,290	1,290
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	11,401	11,169	10,926	10,768	10,598
タイプD 専業主婦(夫)	10,290	10,081	9,862	9,719	9,565
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	23,234	22,720	22,238	21,885	21,563

(4) 計画値

H28～H30の実績から0歳～5歳の人口合計に対する利用率を算出し、最も利用率の高い平成29年度の割合を推計人口に掛け合わせることで算出

(単位:人)

	R2	R3	R4	R5	R6
0～5歳人口合計 推計値	4,449	4,357	4,253	4,193	4,126

年度	H28	H29	H30
利用率(延べ利用数/0歳～5歳人口合計)	241.3%	244.6%	233.6%

(単位:人)

	R2	R3	R4	R5	R6
一時預かり他 推計値	10,880	10,655	10,401	10,254	10,090

(計画値算出の根拠等)

・国算式から算出される量の見込みには、「①定期的な事業利用として保育ニーズのある児童」及び「②2号認定(幼稚園希望)の児童」が含まれている。①は、保育所等の利用を希望していることから、希望がかなえば一時預かりを必要としないと考えられ、また、②は、一時預かり(在園児対象型)に計上されているため、在園児対象型ではない一時預かりは必要ないと考えられる。
 ・上記理由により、国算出結果が実績と比較して過大となっていると考えられることから、H28～H30の実績から0歳～5歳の人口合計に対する利用率を算出し、最も利用率の高いH29の割合を推計人口に掛け合わせることで算出した。

◎病児・病後児保育、ファミリー・サポート・センター（病児・緊急対応強化事業）

「量の見込み」一覧表 整理番号 ⑱

(1)0～5歳児人口(各年3月31日現在)

←実績 推計→

(単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
0歳	833	750	743	692	722	706	691	684	675
1歳	810	821	758	752	699	730	713	699	691
2歳	843	812	814	745	744	692	723	706	692
3歳	841	832	796	786	733	732	681	711	695
4歳	837	829	832	780	779	726	726	675	705
5歳	866	833	822	820	772	771	719	718	668
合計	5,030	4,877	4,765	4,575	4,449	4,357	4,253	4,193	4,126

(2)現状(病児・病後児保育・年間延利用人数)

(単位:人日)

年度	H28	H29	H30
①病児・病後児保育 利用実人数	567	468	431

※ファミリー・サポート・センター(病児・緊急対応強化事業)は、H28～H30実績なし

保育所等利用児童数(各年度1月1日現在)・病児・病後児保育利用率

年度	H28	H29	H30
②保育所等入所児童数(単位:人日)	2,055	2,080	2,063
利用率(①/②)	27.6%	22.5%	20.9%

(3)国算式による算出値

未就学児童調査の問22-1で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」と回答した人のうち、問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人と、問22-1で「5. 病児・病後児保育を利用した」および「7. ファミサポを利用した」、「8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した人の割合から算出

＜就労下限時間:月80時間＞

	R2	R3	R4	R5	R6
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	697	682	666	656	646
タイプB フルタイム×フルタイム	5,418	5,306	5,180	5,107	5,025
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,929	1,890	1,844	1,818	1,789
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	8,044	7,878	7,690	7,581	7,460

(4)計画値

H28～H30の延利用人数の実績から利用者割合を算出し、最も利用率の高いH28の割合に各年度の保育ニーズ合計(2号、3号の量の見込みの合計)を掛け合わせることで算出

(単位:人)

	R2	R3	R4	R5	R6
2号+3号認定 ニーズ推計値	2,061	2,017	1,966	1,938	1,907

年度	H28	H29	H30
利用率(延べ利用数/2号+3号推計数)	27.6%	22.5%	20.9%

(単位:人)

	R2	R3	R4	R5	R6
病児・病後児保育 推計値	569	557	542	535	526

(計画値算出の根拠等)

・国算式から算出値は、これまでの実績と比較して大きく乖離しているため、H28～H30の利用人数の実績から利用者割合を算出し、最も利用率の高いH28の割合に各年度の保育ニーズ合計(2号、3号の「量の見込み」の合計)を掛け合わせることで算出した。

◎ファミリー・サポート・センター(就学児)

「量の見込み」一覧表 整理番号 ⑱

(1)小1～小6人口(各年3月31日現在) ←実績 推計→ (単位:人)

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
小1	891	858	834	800	809	762	760	709	709
小2	914	878	843	826	790	799	752	751	700
小3	920	913	869	840	819	783	792	745	744
小4	870	915	897	867	832	811	775	784	738
小5	883	860	904	887	857	822	802	767	775
小6	880	875	839	888	876	847	812	792	758
合計	5,358	5,299	5,186	5,108	4,983	4,824	4,693	4,548	4,424

(2)現状(年間延べ利用児童数) (単位:人日)

年度	H28	H29	H30
①ファミリー・サポート・センター(就学児) 延利用数	3,896	2,780	3,483

小1～小6推計人口・利用率

年度	H28	H29	H30
②小1～小6推計人口(単位:人日)	5,358	5,299	5,186
ファミリー・サポート・センター(就学児)利用率(①/②)	72.7%	52.5%	67.2%

(3)国算式による算出値

就学児童調査の問16・問17で「7. ファミリー・サポート・センター」と回答した人の割合から算出

低学年算出値と高学年算出値の合計	R2	R3	R4	R5	R6
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	105	101	99	95	93
タイプB フルタイム×フルタイム	565	548	532	516	503
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	102	98	96	93	90
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプD 専業主婦(夫)	26	26	25	24	23
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	798	773	752	728	709

(4)計画値

(3)国算式による算出値ではなく、過去3年間で実績が最大のH28の実績から利用者割合を算出し、その割合に各年度の推計人口に掛け合わせて算出

(単位:人)

	R2	R3	R4	R5	R6
小1～小6推計人口	4,983	4,824	4,693	4,548	4,424

年度	H28	H29	H30
利用率(延べ利用数/小1～小6推計人口)	72.7%	52.5%	67.2%

(単位:人)

	R2	R3	R4	R5	R6
ファミリー・サポート・センター(就学児)推計値	3,623	3,508	3,412	3,307	3,217

(計画値算出の根拠等)

・国算式による算出値は、実績を大きく下回るものであり、妥当性がないと判断した。
 ・過去3年間で最大となるH28の実績から利用率を算出し、その割合に各年度の推計人口を掛け合わせることで算出した。

国ワークシートで算出できない事業の「量の見込み」(案)

【「利用者支援」「乳児家庭全戸訪問事業」「養育支援訪問事業」「妊婦に対する健康診査」】

「量の見込み」一覧表 整理番号 ㉔

養育支援訪問事業

【子育て支援課】

＜事業の概要＞ 子ども子育て支援法第59条第1項第8号、R1.6子ども・子育て支援新制度について(内閣府子ども・子育て本部)

【事業目的】

養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業

＜事業量見込みに関する国の考え方(手引きP67)＞

○量の見込みは「人数」のみ

■第一期計画では、要保護児童対策地域協議会乳幼児部会の対象となった未就学児数を「量の見込み」とした。

■第二期計画においては、実際に訪問指導を要する児童の想定数を「量の見込み」とした。

(単位:人)

見込(案)	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
訪問指導を要する未就学児数	50	20	20	20	20	20
	第一期	第二期計画(案)				

「量の見込み」一覧表 整理番号 ㉔

利用者支援事業

【健康推進課】・【保育幼稚園課】

＜事業の概要＞ 子ども子育て支援法第59条第1項第1号

【事業目的】

子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるように、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等を行う。

【事業類型】

○基本型（「利用者支援」と「地域連携」の2つの柱で構成）

【利用者支援】

身近な場所で日常的に相談、助言・支援を行うなど、当事者の目線に立った寄り添い型の支援

【地域連携】

効果的に利用者支援とつながるよう、地域の子育て支援のネットワークに基づく支援

○特定型

主に市の窓口で子育て家庭等に対し、保育所や各種保育サービスの情報提供や利用支援などを行う。

○母子保健型

主に市保健センター等で、保健師等の専門職が、妊娠期から子育て期までの母子保健や育児相談に応じ、支援を必要とする者が利用できる母子保健サービス等の情報提供を行う。

＜事業量見込みに関する国の考え方(手引きP61)＞

○教育・保育施設や地域の子育て支援の事業に係る情報収集・提供、相談等を実施することから、教育・保育施設や他の地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを勘案して、当事業の量の見込みを算出すること。

○この場合、子育て中の親子の身近な場所に設置することが必要であることから、例えば複数の中学校区（2中学校区など）に1箇所などを目安として、箇所数で設定する。

【第二期計画における量の見込みの整理(案)】

■第一期計画における実績を踏まえつつ、第二期計画における実施箇所数を設定。

■保育幼稚園課で実施している特定型（保育コンサルジュ類似事業）及び健康推進課で実施している母子保健型の利用者支援事業を、第二期計画でも引き続き実施。

(単位:箇所)

見込み(案)	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
特定型	1	1	1	1	1	1
母子・保健型	1	1	1	1	1	1
	実績	計画(案)				

←保育幼稚園課(類似事業)

←健康推進課

国ワークシートで算出できない事業の「量の見込」(案)

「量の見込み」一覧表 整理番号 ㉓

乳児家庭全戸訪問事業 【健康推進課】

<事業の概要> 子ども子育て支援法第59条第1項第7号
 [事業目的]
 生後4カ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業

<事業量見込みに関する国の考え方(手引きP67)>
 ○量の見込は「人数」のみ

【第二期計画における量の見込みの整理(案)】
 ■第一期計画と同様に、**0歳児推計人口を量の見込み**とした。

(単位:人)

見込(案)	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳児家庭全戸訪問事業	768	722	706	691	684	675
	第一期	第二期計画(案)				

←0歳児推計人口

「量の見込み」一覧表 整理番号 ㉔

妊婦に対する健康診査 【健康推進課】

<事業の概要> 子ども子育て支援法第59条第1項第13号
 [事業目的]
 妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じ医学的検査を実施する事業
 ※「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準」(平成27年3月31日厚生労働省告示第226号)に沿って受診した場合、受診回数は14回程度。実際の受診は11回程度。

<事業量見込みに関する国の考え方(手引きP66)>
 ○量の見込として「人数」「健診回数」の設定が必要
 ○健診回数は一人あたりの実際の健診回数×人数で算出

【第二期計画における量の見込みの整理(案)】
 ■**0歳児推計人口×直近5年間の実績平均(対0歳児人口受診率(147%))で算出。**
 ※下記[参考]における対0歳児人口受診率(受診実人数/0歳児人口)の5年平均を使用

(単位:人)

量の見込(案)	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実人数	1,282	1,059	1,036	1,014	1,004	990
健診回数※	17,948	11,649	11,396	11,154	11,044	10,890
0歳児人口	768	722	706	691	684	675
	第一期計画値	第二期計画(案)				

←0歳推計人口×5年平均
 ←実人数×11回
 ←推計0歳人口

[参考]妊婦健康診査 実績

①第二期計画における受診実人数の基礎数値((受診実人数/0歳児人口)のH26~H30の平均値を使用)

第二期計画		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年平均
	受診実人数	1,290	1,201	1,142	1,118	1,069	1,164
	受診延べ人数	13,205	13,531	13,129	11,458	11,905	12,646
	0歳児人口(各年4月1現在)	854	787	833	750	743	793
	受診実人数/0歳児人口	151%	153%	137%	149%	144%	147%

②第一期計画における受診実人数の基礎数値((受診実人数/0歳児人口)のH25年度値を使用)

第一期計画		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	5年平均
	受診実人数	1,436	1,349	1,312	1,366	1,385	1,370
	受診延べ人数	15,304	14,642	14,571	14,578	14,296	14,678
	0歳児人口(各年4月1現在)	918	921	874	843	830	877
	受診実人数/0歳児人口	156%	146%	150%	162%	167%	156%

**御殿場市子ども・子育て支援事業ニーズ調査
「量の見込み」算出に係る関連項目**

《未就学児童用調査項目》

問 12 日ごろ、あて名のお子さんをみてもらえる親族または友人・知人はいますか。

(○はあてはまるものすべて)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる |
| 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる |
| 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5 いずれもない |

問 15 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業・農業等、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親についてうかがいます。(○は1つ) 【父子家庭の場合は(2)へ】

- | |
|---|
| 1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない |
| 2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である |
| 3 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない |
| 4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である |
| 5 以前は就労していたが、現在は就労していない |
| 6 これまで就労したことがない |

(1) - 1 (1)で「1」～「4」を選ばれた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。(数字で記入)

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

<時刻は、24時間表記（例：午後1時→13時）>

1週当たり：	<input type="text"/>	日	1日当たり：	<input type="text"/>	時間
家を出る時刻：	<input type="text"/>	時	帰宅時刻：	<input type="text"/>	時

問 17 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

(○はあてはまるものすべて)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(最終ページをご参照ください)

- | |
|--|
| 1 幼稚園（通常の就園時間の利用） |
| 2 幼幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業を定期的に利用） |
| 3 保育所（県の認可を受けた定員 20 人以上の保育施設） |
| 4 認定こども園（幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設） |
| 5 小規模な認可保育施設（市の認可を受けた定員概ね 6～19 人の保育施設） |
| 6 家庭的保育（保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業） |
| 7 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設） |
| 8 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設） |
| 9 その他の認可外の保育施設 |
| 10 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） |
| 11 ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業） |
| 12 その他（ ） |

問 18 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業※を利用していますか。(○はあてはまるものすべて) 利用している方はおおよその利用回数（頻度）をご記入ください。(数字で記入)

※親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれます。）

- | |
|--|
| 1 子ども家庭センター（市民交流センター「ふじざくら」内）
⇒1 週当たり <input type="text"/> 回 または 1 か月当たり <input type="text"/> 回程度 |
| 2 幼稚園・保育所に設置されている地域子育て支援センター
⇒1 週当たり <input type="text"/> 回 または 1 か月当たり <input type="text"/> 回程度 |
| 3 利用していない |

問 19 問 18 の地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(○は 1 つ)

また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。(数字で記入)

- | |
|--|
| 1 利用していないが、今後利用したい
⇒1 週当たり <input type="text"/> 回 もしくは 1 か月当たり <input type="text"/> 回程度 |
| 2 すでに利用しているが、今後は利用日数を増やしたい
⇒1 週当たり 更に <input type="text"/> 回 もしくは 1 か月当たり 更に <input type="text"/> 回程度 |
| 3 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない |

問 23 あて名のお子さんについて、この1年間で日中に私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか（定期的な利用は除きます）。また、その日数は概ね何日ですか。（半日程度の場合も1日とカウントしてください）（○はあてはまるものすべて。日数を数字で記入）

利用している事業	日数 (年間)	
1. 一時預かり(理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	年	日
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	年	日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	年	日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	年	日
5. ベビーシッター	年	日
6. その他 ()	年	日
7. 利用していない ⇒ 問 23-1 へ		

問 24 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する必要があると思いませんか。利用希望がある場合はその目的と必要な日数をご記入ください。

(○はあてはまるものすべて)

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(最終ページをご参照ください)

1. 利用したい	ア～エの合計	日
ア 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	年	日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	年	日
ウ 不定期の就労	年	日
エ その他 ()	年	日
2. 利用する必要はない ⇒ 問 25 へ		

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含まれます）また、あった場合はその対処方法と年間の泊数をご記入ください。

（○はあてはまるものすべて・日数を数字で記入）

1. あった（あった方は、下のあてはまる記号に○をつけ、日数を記入）		
ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	年	泊
イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	年	泊
ウ 「イ」以外の保育事業（認可外保育施設、パピーシッター等）を利用した	年	泊
エ 仕方なく子どもを同行させた	年	泊
オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年	泊
カ その他（ ）	年	泊
2. なかった		

《就学児童用調査項目》

問 16/問 17 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか（または、過ごしていましたか）。小学校低学年（1～3年生）と高学年（4～6年生）に分けてご記入ください。（○はあてはまるものすべて）

あわせて、1週当たりの希望する日数を記入してください。（空欄に数字で記入）

※「放課後児童教室」の場合は、利用を希望する時間も記入してください。（時刻は、24時間表記でご記入下さい。）

場 所	<問 16>		<問 17>	
	低学年 (1～3年生)		高学年 (4～6年生)	
1. 自宅	週	日<らい	週	日<らい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日<らい	週	日<らい
3. 習い事 (学習塾、ピアノ教室、サッカーなど)	週	日<らい	週	日<らい
4. 放課後児童教室〔学童保育〕	週	日<らい	週	日<らい
利用を希望する時間 (24時間で表記)	⇒下校から 〔 〕 時まで 使いたい		⇒下校から 〔 〕 時まで 使いたい	
5. 子ども家庭センター	週	日<らい	週	日<らい
6. 放課後子ども教室	週	日<らい	週	日<らい
7. ファミリーサポートセンター	週	日<らい	週	日<らい
8. その他（公民館、公園、広場など）	週	日<らい	週	日<らい